

「土砂災害のおそろしさについて」

長崎県 純心中学校 1年 金子 智香^{かねこ ともか}

私が住んでいるところは、長崎市内でも山間部の方で、川も家のすぐそばを流れています。雨が降ったりすると川の水がどんどん増えたり、山から土砂崩れがおこったりして、いつもすごく心配になります。私はまだ、大雨などで避難したことはありません。でも、先日あった熊本の大地震で、多くの人々が避難している様子を見てとても大変そうだなと思って、あらためて土砂災害や洪水のおそろしさを知りました。

長崎でも土砂崩れや洪水など、さまざまな災害がいろんなところでおこっていることを知りました。少し前にあった大雨で土砂崩れのため家がうもれてしまっているところをテレビで見ました。その時の家が建っている場所が山間部で私の住んでいるところとすごく似ていて、同じようになるかもしれないのだと、すごくこわくなりました。

でも、私のお父さんやお母さんは、もっとこわくて、大変な思いをしたことがあります。それは、「長崎大水害」です。お父さんに聞いた話だと、長崎大水害は、1時間になんと100ミリ前後の雨が3時間降っていて、たくさんの方が亡くなったそうです。お父さんとお母さんは避難して無事だったけど、避難におくれた人や、家の下じきになった人、川でおぼれた人など、たくさん亡くなった人がいるので長崎大水害はとても悲惨な出来事だったんだと思います。私がまだ生まれていない時におこった出来事なので、最初はよく分からなかったけれど、実際に体験したお父さんに聞いたことで、すごく土砂災害や洪水についてよく分かりました。

長崎でもいろいろな災害がたくさんあって、亡くなった人がたくさんいるので、一人でも多くの方が助かるための対策を私は考えました。まず最初は、避難場所の確認だと思います。私は先日の熊本地震の時に初めて家族で避難場所の確認をしました。それまでは、長崎は地震が少ないからという理由で、家族みんなで確認したことはありませんでした。でも、近くの県の熊本で大きな地震があったので、長崎でもあった場合のために、みんなで話し合いました。あらかじめ話し合っておくと、もしもの時にすぐに避難できて、一人でも多くの方が助かるのではないのかと思います。

次に危険な場所には近づかないということです。土砂災害には三つの種類があって、それぞれ特徴があります。一つ目はがけ崩れで、突然がけが崩れ落ちる現象で、がけ崩れがおこって家がうもれたりします。二つ目は地すべりで、斜面が下の方に移動する現象です。三つ目は土石流で、川底の石が一気に下へ押し流される現象で、一瞬で家や畑を壊します。がけ崩れの前兆は普段出ないところから水が出てきたり、石が落ちてきたりすることです。地すべりは山腹や道路に亀裂ができることで、土石流は急に川がにごって、木が流れてくることです。このような現象がおこっているところは土砂崩れがおきやすいので、近づかないようにすることが大事です。

最後に、雨が降ったら警報などをよく見て注意をしておくことです。土砂災害警戒情報は、土砂災害が発生する危険度が高いときにします。だから土砂災害警戒情報が出たらすぐに避難をすることが大事です。

今までのことをまとめてみると、まず、あらかじめ避難場所を決めておいて、雨が降ったら土砂災害警戒情報が出ていないかテレビなどを見てしっかり確認して、出たら早めに避難をする。また、がけ崩れ、地すべり、土石流のおこるところには近づかないようにする。このようなことに気をつけて、土砂災害で一人でも多くの方が助かったらいいなあと思います。

このように土砂災害はとても危険だということが、地震や大雨などの現象からすごくよく分かりました。山のたくさんある長崎ではとても危険なこともあり、たくさんの方が注意が必要なのも分かったのでよかったです。

私の家の近くもすごく危ないところなので、いつも気をつけていきたいと思います。

そして過去にあった土砂災害について、たくさんの方が知って、土砂災害のおそろしさを分かってもらって、意識が高くなればいいなと思います。

また、長崎の人として、「長崎大水害」についてもたくさんの方に分かってほしいなと思いました。